

新理事長就任のご挨拶（6月28日就任）

このたび、気象業務支援センターの理事長に就任しました長谷川直之です。気象業務支援センターは、気象庁と民間事業者の橋渡しをする大切な組織として、ちょうど30年前に設立され、気象庁のデータの配信、気象予報士試験の実施、気象測器の検定など、気象庁から指定、登録を受けて行う業務を着実に実施してきました。また、最近では、環境省の委託による暑熱環境調査、JICAの技術協力プロジェクトの実施、文部科学省の研究計画「気候変動予測先端研究プログラム」の推進に取り組むなど、日本や世界の様々な気象サービスの進展に貢献してきました。

気候変動や情報通信技術の急速な発展などを背景として、気象サービスは拡大、多様化していると思います。そうした中、北村新会長のご指導のもと、事業の内容、やり方を不断に見直し、時代に合った事業の推進をめざしてまいります。

もとより微力ではございますが、よりよい気象サービスのために努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

